

保育計画成果報告書

法人名等	合同会社子ども三凜舎
施設名	いしたに保育園
報告者（役職）	石谷 順子（代表）
住所・連絡先	神奈川県川崎市宮前区東有馬 3-13-34
	☎ 044-866-8776
	E-mail Dondoko.don.junkomo.don@gmail.com

○タイトル（保育計画）

ひとりひとりを大切に育む、安心・安全の保育

○主な助成備品

空気清浄機・三輪車 2 台・乳幼児紙芝居一式・乳幼児チェアー5 台

1. 保育計画策定の目的

当園は平成 23 年度にスタートした家庭的保育室(5 人定員)から、8 年目に小規模保育園 C 型(10 人定員)へと移行した小さな保育園です。

0,1,2 歳児が、兄弟姉妹のようにたて割りのゆったりした環境の中で育てほしいと一人ひとりの成長を大切に育む、安全・安心の保育に必要な環境を整えたいと思いました。

2. 具体的な実施内容

(1)空気清浄機

保育室内全体の空気を循環する場所に設置。

空気清浄機を常時稼働させ 20 畳ほどの保育室内を除湿・加湿し、ウィルスの繁殖を抑えつつ、乾燥によるのどや気管支の防御機能の低下を防ぎ、快適な空間で子ども達が生活できるようになりました。



(2)ラボ・三輪車

当園は公園に隣接しており、公園敷地内で三輪車に乗り伸び伸びと子ども達が遊ぶことができるようになりました。三輪車で活発に遊ぶ姿がよく見られます。

ラボ・三輪車は想定していた以上に重量があり、2歳児はもちろんのこと、保育者が見守る中で0,1歳児が乗って遊べるほど安定していました。



(3)乳幼児紙芝居セット

以前は、区の図書館で毎月紙芝居を借りていました。0,1,2歳児向けの紙芝居を購入させていただき、ひな祭りなど日本古来の行事などを収録した紙芝居で、解りやすく子ども達に伝えられるようになりました。

毎日生活の流れの排泄、砂場着の着替えなどの戸外遊び準備ができると、自分の席に座って、紙芝居の時間を楽しみます。

10人の子供達が集中して紙芝居を観る時間を設けることで、次の活動へ安定して移行できるようになりました。



(4)乳幼児用三段チェアー

0～1歳児用の赤い縁取りのテーブル(低)には、黄色のチェアー(低)が5台ありますが、新たに1～2歳児用のピンクの縁取りのテーブル(高)に合わせたピンクのチェアー(高)を5台購入させていただきました。

0～2歳児までと一番発達段階において幅の大きな異年齢保育には、成長に合わせたテーブルとイスが必要と考えました。



3. その成果と評価

子ども達の成長に合った保育環境は、子ども達の日々の生活を安定させ、子ども達自ら、見通しを持って、行動できるようになりました。

2台の三輪車は、「順番に乗ろうね」と子ども達からの提案で、はじめは3分交替、5分交替など決めていましたが、今では自然に譲り合うこともできるようになり、心の成長も感じています。

4. 今後の課題と展望

助成申請時には、勢いがありました。永年の夢であった保育園がついに実現し、これからいかに安全・安心・快適な環境を整えていくか、物的には、人的には...と理想の保育を常に思い描いていました。

思いがけずこの度助成をいただきスタッフ一同、感謝の気持ちと共に購入させていただいた備品を日々活用し、楽しく保育させていただいております。

我が保育園も2年目になり、私も還暦を迎えました。体力的に限界を感じる日々。今後は世代交替を考えながら、新保育所保育指針をふまえ、変わりゆく保育ではありますが、根底である『一人ひとりを大切に育む、安心・安全の保育』を極めていきます。

最後になりましたが、備品購入にあたり助成をしていただいた第一生命財団様に心より御礼申し上げ、今後も大切に保育に生かし続けていきます。

以上